



TITLE:

Cover & Contents

AUTHOR(S):

CITATION:

Cover & Contents. ZINBUN 2011, 42

ISSUE DATE:

2011-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/139374>

RIGHT:

© Copyright March 2011, Institute for Research in Humanities Kyoto University.

Z I N B U N

NUMBER 42 (2009/2010)

EIGHTIETH ANNIVERSARY ISSUE

INSTITUTE FOR RESEARCH IN HUMANITIES
KYOTO UNIVERSITY

Editors Toshio YOKOYAMA
 Masato FUJII
 Mieko KAJIHARA
 Kenta OHJI

© Copyright March 2011

Institute for Research in Humanities
Kyoto University
Yoshida Honmachi, Sakyo-ku
Kyoto 606-8501, Japan

Printed by Nakanishi Printing Co. Ltd.

CONTENTS

Masato FUJII, The <i>Gāyatra-Sāman</i> : Chanting Innovations in the Sāmavedic Brāhmaṇas and Upaniṣad	1
Mieko KAJIHARA, The “ <i>grhya</i> ” Formulas in Paippalāda-Saṃhitā 20	39
Ikuko KOIKE, Changing Orisa Worship: Anti-White/Christian Ideology and the Black Relationships with Africa in the Yoruba American Socio-Religious Movement	63
Akihiro KUBO, La Grande Guerre vue à travers des anecdotes : notes sur la première série d’A <i>la baïonnette</i>	87
Kenta OHJI, Représentation politique, Opinion publique et Crédit : Les réformes de la Compagnie des Indes et de la monarchie française selon Ranyal/Necker	111
Masakazu TANAKA, Fetishism: A Double Denial	131
Yuriko TANAKA, Koch’s Technologies and Postulates: How They Work Together in Connecting the Material and the Human in the Foundation of Bacteriology	147
Koichi YASUOKA and Motoko YASUOKA, On the Prehistory of QWERTY	161
Toshio YOKOYAMA, Civility in a Polytheistic Environment: A Perspective from the Japanese Experience	175
Institute for Research in Humanities, Staff and Seminars	187
Submission Guidelines for ZINBUN	203

投稿規定

投稿規定

- (1) 毎年3月年一回の刊行とする。人文科学に関する関連領域の論文、また必要に応じて研究ノート・書評などを掲載する。
- (2) 執筆希望者は、4月末までに編集委員会に仮タイトル、予定枚数、図版数などを申告する。とくに枚数の制限を設けないが、論文の場合は2000語以上、研究ノートの場合は1000語以上を目安とする。他の掲載論文との関係から調整をお願いしたり、制作実費を申し受ける場合がある。
- (3) 投稿資格をもつものは、人文科学研究所内の研究者、共同研究班班員、名誉所員、客員（国内客員および外国人研究員）、招聘外国人学者、外国人共同研究者、内地研究員、研修員、日本学術振興会特別研究員とする。また編集委員会がこれ以外に適切と判断して投稿を依頼する場合がある。
- (4) 投稿にあたっては、執筆要領に従う。
- (5) 執筆者は、ネイティブ・チェックを済ませたうえで完全原稿を編集委員会宛に送る（ネイティブの執筆者を除く）。その際、コピーを含め3部提出する。
- (6) 査読は、編集委員会の委員および所内の専門家の審査（所内に専門家がない場合は、委員会が依頼した外部の専門家による審査）に基づき、最終的に編集委員会の責任で行う。投稿論文は、(A)そのまま掲載、(B)修正を条件に掲載、(C)不可、のいずれかに判定される。(B)の判定で、修正が編集委員会の要請を満たしていないと判断された場合、最終的に掲載不可となる場合もある。
- (7) 執筆者は、入稿する最終原稿が完成すると、プレーンテキストファイルおよび一般的なワープロソフトによる文書ファイルを、電子メールに添付、あるいは電子媒体に複写したもの、およびハードコピー3部を編集委員会に提出する。
- (8) 著者校正は原則2回とする。ただし著者が海外滞在の場合は1回の場合もある。
- (9) 原稿料は支払われない。ただし執筆者には本誌1部と抜き刷り50部が無料で提供される。
- (10) 『ZINBUN』の掲載論文等について、その著者は複製権（電子化する権利）と公衆送信権（公開する権利）にかんする許諾を人文科学研究所に与えたものとする。人文科学研究所は公開の便をはかるために、京都大学が設置したサーバーから掲載論文等を画像あるいはPDFなどの形式で送信することができる。

執筆要領

- (1) 原稿は、欧文にてダブルスペースとする。
- (2) 注などの書式は、学問分野により異なるので、とくに統一しないが、主要学会誌で採用されているスタイルを用いる。
- (3) 注は、基本的に脚注とする。

- (4) 投稿論文は、いくつかのセクションに分け、原則としてそれぞれにアラビア数字と見出しをつける。
- (5) グラフや地図、写真などを掲載する場合は、別の A4 用紙を用いて（写真は除く）提出すること。その際、キャプション、出典（該当する場合）、挿入場所を明記すること。掲載に関して著作権の処理が必要な場合は、投稿者が行う。
- (6) 執筆に関して、質問があれば、編集委員会に問い合わせる。

投稿締切

毎年 7 月末日

電子化については以下のサイトを参照のこと

京都大学学術情報リポジトリ

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/kurir/index.html>

<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/>